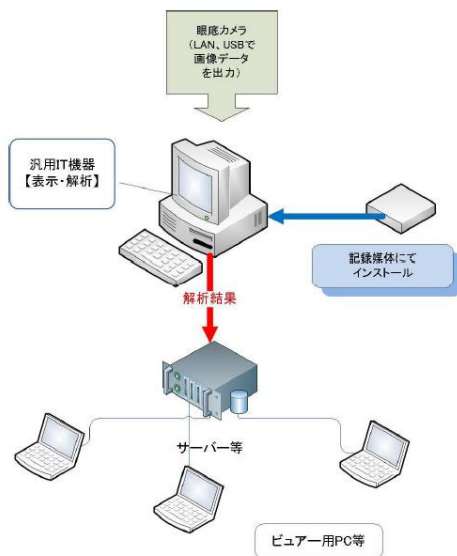


MediUS Photo メディウス フォト

【形状・構造及び原理等】

1. 概要

眼底カメラ（以下、検査機器）から得られた情報をさらに処理して診断等のために使用する医療機器プログラムである。本プログラムは記録媒体で供給し汎用IT 機器にインストールして使用する。当該プログラムを記録した記録媒体で提供される。



2. 動作原理

眼底カメラと本プログラムをインストールされた汎用IT 機器はUSBケーブルまたは、LANを経由して情報を取得する。診察室などで閲覧・参照する場合は汎用IT 機器にWeb ベース (Internet-Explorer) のプログラムに接続すれば利用できる。単体使用の場合は自身のWeb プログラムのアイコン起動し利用する。単体使用とはネットワーク環境で利用せず、眼底カメラと直接接続された汎用IT 機器のみで使用する場合はこのことを表す。

【使用目的又は効果】

本品目は、眼底カメラから得られた情報をさらに処理して診断のための情報を提供すること。

【使用方法等】

1. 動作環境及び事前準備

本プログラムは、下記の仕様を満たす汎用IT 機器に製造販売業者が指定した方法（添付文書又はプログラムに含めた電磁的記録に記載された手順）でインストールして使用する。汎用IT 機器は、患者環境外に設置する。

汎用IT 機器の仕様

インストール可能な汎用PC 及び組み合わせる画像表示モニター：

安全性：JIS C 6950-1 適合 EMC：CISPR 22/CISPR 24、またはVCC 適合

汎用PC の性能：

OS：Windows 7-pro (SP-1) 以上のオペレーティングシステム

CPU：Intel Core-i5以上(32/64 Bit)搭載
HDD (空き容量)：250GB以上
メモリ：2GB以上
インターフェイス：パラレル、PS/2、USB、シリアル、PCI-E x16以上のボードスロット搭載 (アナログI/Fボード搭載の場合)
LAN：100Base以上

画像表示モニター：

解像度：1280×1024ピクセル以上
表示色Highcolor 16bit以上
輝度：420cd/平方m以上
諧調：256 階調
カラー表示

2. 使用準備

- (1) 取り込みを行う検査機器の電源を入れ立ち上げる。
- (2) インストール先の機器の電源を入れる。
- (3) 本プログラムを起動する。

3. 操作

- (1) 検査機器から画像を取得する。
- (2) 機能を選択する。
- (3) パノラマ (張り合わせ) 表示等を行う。
- (4) 結果を保存する。

4. 終了

- (1) 画面上の終了アイコンをクリックするかあるいはメニュー項目から終了機能を選択し本プログラムを終了させる。

- (2) 必要に応じて検査機器及びインストール先の機器の電源を切る。

【保管方法及び有効期間等】

保管方法

特になし

【取扱い上の注意】

- 1 本医療機器プログラムは医科向けに設計されており、それ以外の用途には使用しないこと。
- 2 使用するPCは電源の周波数と電圧及び許容電流値 (又は消費電力) に注意すること。
- 3 本プログラムの操作者は、取扱説明書を読了し、本装置を使用するための訓練を受けた者のみとすること。
- 4 使用するPCは弊社が推奨する性能をもつものを利用すること。
- 5 本医療機器プログラムの使用にて生じた患者データ等の重要データの消失については弊社では保証できない。予めデータのバックアップ等を考慮して使用されたい。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者：株式会社ビーライン

住 所：〒194-0021 東京都町田市中町1-2-2 森町ビル3F

電話番号：042-729-3753

製造業者：株式会社ビーライン

取扱説明書を必ずご参照ください。